

本年度の重点目標達成に向けた各分掌のテーマ及び具体的な取組

分 掌 名： 生徒指導部

記入者氏名： 武田 誠健

**本年度の重点目標**

人材育成と自己実現

すべての教育活動を通じて人材育成を図り、人格の完成と自己実現を支援する

**\*実践指針**

「追究姿勢」をすべての教育活動の根底に置くこと。これを通して、「先行き不透明な時代に挑戦し、自己と社会の未来を切り拓く人材（21世紀人材）の育成を図り、人格の完成と進路目標の達成を含めた自己実現を支援する

以下年度当初の教育方針の「具体的な手立て」に沿って、各分掌、学年でさらに具体的な方策を明記して作成してください。

月	<b>各分掌のテーマ及び具体的取組の作成及び実践 Plan～Do</b>
4   6 月	<p>(テーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が自主的にルールやマナーを守り、自らを律することができる心の育成</li> </ul> <p>(具体的取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自転車点検や整容指導などにおいて、教師による一方的な指導ではなく、生徒による相互チェックを取り入れる。</li> <li>○ PTA 一声運動への生徒の参加を促す。</li> <li>○ 各種講習会後に生徒の感想を共有する。</li> <li>○ 標語コンクールなどに積極的な参加を促す。</li> </ul>
	<b>各分掌の検証方法及び具体的取組の検証(1) Check</b>
4   7 月	<p>(検証結果)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 第1回自転車点検において、生徒指導部員が生活委員の生徒とともに点検を行った。</li> <li>○ 整容指導では生徒による活動を入れられなかった。</li> <li>○ 5月の一声運動に生活委員が参加した。</li> <li>○ 携帯電話安全教室後に感想を書かせ、一部を「生徒指導部だより」に掲載した。</li> <li>○ 高生協主催の標語コンクールには、これまでは2クラス程度しか参加していなかったが、今回は全クラスから募集した。各学年の生活委員が応募作品の選考にあたった。</li> </ul>

## 検証（１）から、改善のための具体的取組 Action～Do

8  
|  
11  
月

（改善のための具体的取組）

- 整容指導の際には、教員による指導の前に生徒同士で互いの服装・頭髪をチェックさせ、整容に対する意識を持たせたい。
- 2学期当初の交通安全指導・昇降口指導の際に生活委員による挨拶運動を行う。また、10月のPTAによる一声運動にも生活委員が参加する。
- 2学期に行われる「性教育講座」「DV 予防セミナー」および「第2回交通安全教室」を実施した後に、生徒に感想を書いてもらい、「生徒指導部だより」や学年部報に掲載する。
- 標語コンクールの応募作品について、校内選考に漏れた作品についても「生徒指導部だより」や学年部報に掲載する。

## 改善のための具体的取組の検証（２）、次年度に向けて Check～Plan

12  
|  
2  
月

- ・保護者アンケート（12月）

（検証結果）

- 準備不足のために生徒相互の整容チェックができなかった。次年度への課題としたい。
- 生活委員による挨拶運動を2学期当初に実施した。10月の一声運動にも参加した。
- 各種講習会の感想を生徒に書いてもらったが、共有できたのは携帯電話教室だけだった。来年度は学年部報等への掲載をすすめたい。
- 標語コンクールには全校生徒に応募してもらった。生徒指導部だよりに数はわずかだったが、掲載した。

保護者アンケートより

- ・駐車場の出口が狭い。
- ・保護者の駐車場内でのマナーが悪い。高齢者が逆走することもある。

（次年度に向けて）

- 制服や頭髪等の基準を明確に示し、教師による一方的な指導にならないよう、生徒同士の整容チェックも進めたい。
- 生活委員の活躍の場を、自転車点検や挨拶運動、美入野祭での巡回のほかにも増やしたい。
- 各種講習会での生徒の感想の共有や標語コンクールへの全校参加を引き続き行いたい。
- 朝の駐車場内での乗降、保護者の車の通行状況について、職員が交通指導をしているときさえルールを守ってもらえないことが度々ある。週番や交通安全指導期間での指導、通信やPTAを通じて根気強くルールの徹底を訴える。
- 不登校傾向の生徒の指導について、SCとの面談で改善したケースが多いので、今後も早期に対応していけるように、協力体制を取って行きたい。
- 校舎改築を機に、野球場側の駐輪場を再整備し、駐車場を広げロータリー出口を広くしたり、乗降場所となる誘導路を造るなど整備をした方がよい。

## （外部評価）3月16日 第2回学校評議員会・学校評価委員会

評価はB○

早朝の街頭指導、交通安全指導、いじめやネット、スマホ、薬物等の各講座、教育相談体制等、円滑に運営されていた。お陰で生徒の自転車の通行マナーも向上している。また、標語コンクールに全校体制で応募する取組みも評価できる。主体的な行動判断と規律ある生活を送ることができる生徒の育成のためにも、生徒の主体的な活動を支援する工夫を期待したい。